

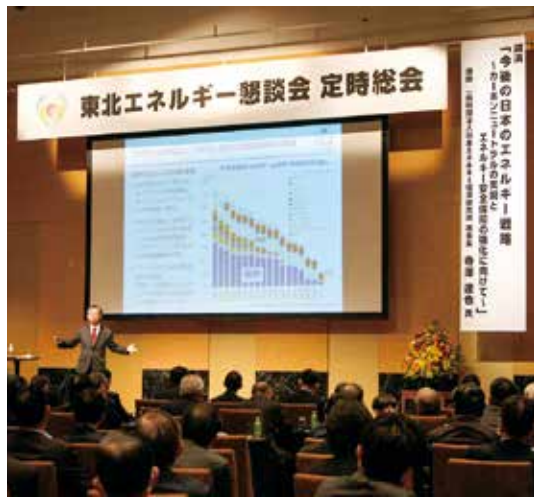


▲挨拶を述べる鶴田会長

2023年度事業活動の力点

- ① エネルギー・放射線に関する正確かつ効果的な情報発信
- ② エネルギー・放射線に関する次世代層教育の継続
- ③ 女性層に対する情報発信と双方向コミュニケーション活動の充実
- ④ 福島県への復興支援に向けた情報発信の充実

ることが大切。広くだけでなく、深く、知るための後押しをお願いしたい」「将来を担う次世代層への教育の場が必要」など、大変貴重なご意見をいただきました。



▲寺澤理事長による講演会

記念講演会を開催

総会后、一般財団法人日本エネルギー経済研究所（EJEC）理事長の寺澤達也氏を講師にお招きし、「今後の日本のエネルギー戦略 ～カーボンニュートラルの実現とエネルギー安全保障の強化に向けて～」とのテーマでご講演いただきました。講演では、2050年のカーボンニュートラルの達成に向けた道筋や再生可能エネルギーの導入等を含めた世界各国の動き、水素やアンモニアの活用に向けた状況や今後の可能性についてご説明いただきました。さらにロシアによるウクライナ



（一財）日本エネルギー経済研究所
理事長
寺澤 達也 氏

大阪府出身、東京大学法学部卒業。1984年に通商産業省入省。資源エネルギー庁や経済産業政策局等を経て、2011年内閣総理大臣（野田内閣）総理秘書官を務める。2021年2月一般財団法人日本エネルギー経済研究所参与を経て、同年7月現職に就任。

なお、講演内容につきましては、会員向けに期間限定（8月31日まで）でWeb配信しております。ぜひご覧ください。



東北エネルギー懇談会

2023年度 定時総会を開催

当会は、5月30日、仙台市内において、2023年度定時総会を開催しました。当日は170名の会員の皆さまにお集まりいただきました。

定時総会について

総会の冒頭では、鶴田真孝会長より挨拶を述べました。鶴田会長は挨拶の中で、今のエネルギー情勢、GX（グリーン・トランスフォーメーション）：経済産業省が提唱する脱炭素社会に向けた取り組みに触れ、これからはエネルギーミックスという考え方がますます重要となってくること、そして「エネルギーミックスの重要性の発信」をミッションに掲げる当会としても更なる努力が求められているとの認識を示しました。

続いて、事務局より2022年度事業・決算報告、2023年度事業計画・予算および役員を選任について説明を行い、いずれも提案どおり承認いただきました。

質疑応答では、ご参加いただいた皆さまより「エネルギー関連施設を実際に見学す

ることに興味がある」という声も聞かれました。また、GX（グリーン・トランスフォーメーション）の推進に向けた取り組みや、エネルギーミックスの重要性の発信について、今後の取り組みや、環境問題の重要性を強く認識し、粘り強く取り組む必要があると述べられました。具体例やデータを交えた講演内容に参加者一同真剣に聴き入り、講演の終わりには「なぜLNGの長期契約が減少傾向にあるのか」「水力発電の可能性についてどう思うか」など活発な質疑応答がなされました。

また、GX（グリーン・トランスフォーメーション）の推進に向けた取り組みや、環境問題の重要性を強く認識し、粘り強く取り組む必要があると述べられました。具体例やデータを交えた講演内容に参加者一同真剣に聴き入り、講演の終わりには「なぜLNGの長期契約が減少傾向にあるのか」「水力発電の可能性についてどう思うか」など活発な質疑応答がなされました。